

## 『ZEH』 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスFASE2への対応

### ▷ produce・D 『ZEH』 FASE2 対応宣言

日本国内では「エネルギー基本計画」（2014年4月閣議決定）において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなる住宅（以下、「ZEH」という）の実現を目指す」とする政策目標が設定されています。経済産業省資源エネルギー庁は、この目標の達成にむけたZEHロードマップの検討をおこない、そのとりまとめを2015年12月に公表しました。

これに伴い弊社としても、①エネルギー必要量の削減、②省エネの推進、③エネルギーの創出 以上の規格を満たす高性能・高効率な住宅施工とご提供を中期的計画の元これまで以上に進めて参ります。仕様の統一化のコストダウンは勿論のこと、カタログ提示による性能比較等お客様に満足頂ける品質を追求して参ります。

▷ 2017.3.17 追加情報：弊社 produce・D は左記日付にてZEHビルダー登録認定通知を受領致しました。



今後ともお客様の夢の実現に向けスタッフ一同努力して参ります。  
ZEHビルダー登録番号：ZEH28B-05116-CR

(参考サイトURL) [経済産業省 資源エネルギー庁 ZEHに関する公開情報](#)

### ▷ 2024.04.27 Release (2023年(令和05年)度事業実績報告)

弊社における中期計画上の事業実績について、ご報告させていただきます。

(参考サイトURL) [経済産業省 資源エネルギー庁](#) [ZEHに関する公開情報](#)

#### ▷ 2024.04.27 Release (2023年(令和05年)度事業実績報告)

弊社における中期計画上の事業実績についてご報告させていただきます。

2023年度(令和05年以降)事業年度以降においては、ZEH Fase2-2025年度75%以上の施工率を掲げこれまで以上に高性能・高効率な住宅施工と提供を継続して参ります。2023年度実績においては店舗・倉庫等の商業施設建設や改築等の受注施工が主な事業実績となりました。引き続き高性能・高効率な住宅施工についてFase2(2025年度)目標に向け着実に事業運営を図って参ります。

また、弊社が取得した住環境改善予防建材(洗濯機振動/騒音防止専用置台)の販路拡大による収益確保を進めてまいります。

今後についてもさらにあらたな事業展開を行うべくZEHビルダーとして事業に邁進していく所存です。今後もこの取組みにより国およびお客様が目指す省エネルギー社会の実現に貢献して参ります。

今後のお客様満足度向上とより良い住環境の提供に邁進して参ります。

#### ■2023年度(令和05年)度事業実績報告

施工区分	2020		2021		2022		2023		2025	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
新築	70%	100%	70%	0%	70%	0%	70%	0%	70%	0%
既存	25%	0%	25%	0%	25%	0%	25%	0%	25%	0%

[を編集](#)

# 『 ZEH 』 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (Net Zero Energy House) への対応について

弊社における『 フェーズ 2 / 2025年度までの中期計画 』 および2023年度実績報告について。(R05年度実績反映)

- 取組概要▷ 平成28年事業年度においてZEHビルダー認可申請を実施しつつ、事業指針に則り高効率住宅の建築を推進。
- 実績概要▷ 弊社WEBサイト (<https://www.produce-d.com/>) 最新施工例にて、外皮平均熱貫流率低減などの各種施工事例の公表等を図り情報発信を実施。(高効率住宅普及の展開)
- 事業実績▷ 2023年(令和5年度)事業年度においては店舗建築・倉庫改修等の事業者向け受注工事の施工を実施しつつ、引き続き対計画100%の高精度・高効率住宅の提供による社会貢献とエネルギー資源節約を中心に事業運営。

## ◎ 2025年度 Fase 2 計画よび実績経過



## ◎ 弊社施工実績住宅



# 『ZEH』 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (Net Zero Energy House) への対応について

弊社では、Fase 2 2025年度計画においても引き続き受注案件の最大95%の対応を目指し各種の対応を進めて参ります。



## ◎ 通常施工実績 『外皮平均熱貫流率 0.5台を』実現



### ① エネルギー消費量の削減

高性能断熱材による冷暖房エネルギー消費量削減を実現。  
 年間ランニングコストの圧縮につなげます。



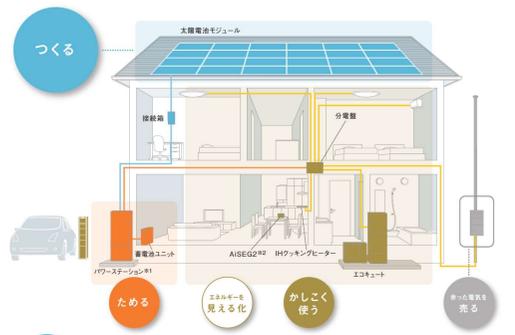
### ② 省エネの推進

ハイブリッド給湯器、および高効率電気温水給湯器の採用。



### ③ エネルギーの創出

太陽光発電システムによるエネルギーの創出。  
 設計段階における屋根勾配の検討。  
 創出エネルギー量の拡大提案を実施。



代表取締役社長

営業管理担当

- ・ 設計相談、施工図管理
- ・ 資金計画、収支管理
- ・ 受注管理およびお客様相談受付

施工管理担当

- ・ 材料積算、実行予算計画
- ・ 現場確認、施工指導
- ・ 安全管理

工務担当

- ・ 施工写真管理、現場進捗管理
- ・ 材料運搬、資材管理
- ・ 清掃、安全確保指導